



個票 2 過密林分における本数調整伐による林内の光環境の改善

〔森 1(1)④3-1 森 2(2)①8-1〕

(2011年作成)

配慮の視点	生態系の多様性への配慮	配慮項目	生き物の生息・生育空間となる多様な自然とそのつながりの保全・創出
	種の多様性への配慮		野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	豊かな土壌の保全・回復・創出		
	多様な緑地などの保全・創出		
配慮事例	樹林の林床植生の多様化による表土流亡の防止		
	樹林の整備・管理による多様な植生の回復		
内容	<p>●過密林分における間伐による林内の光環境の改善</p> <p>【解説】</p> <p>スギ・ヒノキ等の人工林では、適切な間伐が行われないと樹木が過密状態になり、林内照度が低下します。このような森林では、林床に生育できる植物は少なく、貧弱な林床植生となってしまいます。林床植生は、雨滴を緩和させて表面流を抑制し、植物の根系によって表土を緊縛することにより、表土の流亡を防ぐ働きがあります。</p> <p>人工林が適正な密度になるように間伐を行うことで、林内の光環境を改善し、林床植生の発達を促すことが望めます。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>●間伐率の決定</p> <p>現地調査により現況の成立本数と平均樹高を把握し、人工林林分密度管理図を参考に、間伐率を決めます。</p> <p>【事例】</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>間伐の遅れた森林</p>  </div> <div style="font-size: 2em;">➡</div> <div style="text-align: center;"> <p>適正に間伐が行われている森林</p>  </div> </div>		
参考資料	1	「間伐の手引<解説編>」林野庁	